令和５年度学校評価（自己評価アンケート：教職員）の結果及び改善策

１　評価尺度

４：十分達成できている　　３：どちらかというと達成できている
２：どちらかというと達成できていない　１：ほとんど達成できていない

２　評価結果　（　)内は、昨年度の最終評価の数値

１　学校経営：３．７（３．７）　　２　教育活動：３．６（３．６）
３　組織運営：３．６（３．７）　　４　教育環境：３．７（３．６）
５　地域や社会に開かれた学校づくり：３．８（３．７）

３　課題項目抽出の基準

・評価平均が昨年度から０．５ポイント以上下がった項目・・・なし
・１及び２の評価が１０％以上あった項目・・・なし
・職員から改善を求める意見があった項目・・・No.7、11、17、21、25、32

４　改善策検討方針

上記の基準及び職員の意見を踏まえ、改善策を職員全員で検討し、次年度の取組に生かす。

５　次年度に向けた改善策（以下改善策）を検討する事項

（１）　児童生徒のニーズに応じたキャリア教育の充実
（２）　教科等指導の充実

６　改善策

（１）　<u>児童生徒のニーズに応じたキャリア教育の充実</u>

① 各学年や各部に応じた系統性のあるキャリア教育、進路指導ができるように、ねらいや年間計画を見直し、授業や保護者との面談に生かしていく。
② 「キャリア教育全体計画」や「身に付けてほしい力」の確認、活用方法を共有し、指導の充実につなげていく。
③ キャリアパスポートの内容や運用を整理し、児童生徒一人一人に応じた役割や課題を果たせるよう支援する。

（２）　<u>教科等指導の充実</u>

① 担任、または授業担当者間で単元計画表を用いた目標、評価、授業計画、授業改善などの検討や共有を行い、より児童生徒の実態に応じた分かりやすい授業づくりに努める。
② 他部の授業や学部行事などを見合う機会を設定し、指導力の向上を図る。
③ 効果的な指導や教材等を共有し、児童生徒の実態により合った体験的な授業を展開できるよう工夫する。